

平成 19 年 11 月 16 日

東京都中野区中央5丁目38番16号  
日本エス・エイチ・エル株式会社  
代表取締役社長 清水佑三  
(コード番号：4327)  
問合せ先：常務取締役 中村直浩  
TEL：03-5385-8781 (代表)

## 子会社の吸収合併に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 11 月 16 日開催の取締役会において、下記のとおり、子会社である株式会社イー・コーチングを吸収合併することを決定いたしました。

### 記

#### 1. 合併の目的

株式会社イー・コーチングは、ヒューマン・アセスメントと呼ばれる事業分野に特化した当社の全額出資子会社であります。ヒューマン・アセスメントとは、当社の主要サービスであるペーパー・アセスメント（筆記テスト）と対比される概念で、人が人を観察して評価するすべての評価手法を指します。たとえば、被験者集団をいくつかのグループに分け、そこであるテーマでの「グループ討議」を行ってもらい、グループ討議中の被験者の行動を、訓練を受けたアセッサー（評価代行実施者）が観察・記録・分類・評価した上で、被験者本人にフィードバックするとともに、顧客に個人別能力報告書を提供するような専門的なサービスであります。そこで得られたある被験者についての結果を、同じ被験者のペーパー・アセスメントの結果と突き合わせることで、知能面と行動面の両面からの客観的な評価が可能になります。この事業分野は、ペーパーテストとは異なり、多数の評価者一人ひとりを訓練し、アセスメント場面に派遣するという労働集約的な一面があり、当社の主要事業であるペーパー・アセスメントとは異なった経営・管理手法が求められます。将来のヒューマン・アセスメント事業を伸ばす上で、分社化が欠かせないとして株式会社イー・コーチングを子会社として平成 16 年 8 月に独立させたものであります。

子会社である株式会社イー・コーチングは、会社設立後、4 事業年度を経過しました。最近 2 事業年度は、黒字基調で推移し、事業基盤も整いました。今後のヒューマン・アセスメント事業の展開を考慮いたしますと、以下の三つの理由により、子会社として存続させるよりも親会社に取り込む方がより事業の発展が見込めると判断いたしました。

① この 3 年間で、100 名以上のアセッサー（評価代行実施者）を擁する実務体制が整った。

今後、より規模の大きなアセスメント・プロジェクトを取り込むためには、子会社の信用

で営業を行うよりも、親会社の信用で営業した方がよい。

- ② 事業の拡大を目指す上で質の高い人員の増強が必須である。子会社としての採用力は限界があり、親会社と一体化した方がよい。
- ③ 子会社の経営管理コスト（IT、会計、総務等の経営管理機能）の負担はかなりのものとなっている。合併によりその削減が期待できる。

## 2. 合併の要旨

### (1)合併の日程

合併決議取締役会	平成19年11月16日（金）
合併契約締結	平成19年11月16日（金）
合併承認株主総会	会社法第796条第3項に定める簡易合併の手続きによるため開催いたしません
合併の予定日（効力発生日）	平成20年1月1日（火）

### (2)合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社イー・コーチングは消滅いたします。

### (3)消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3. 合併当事会社の概要

(1) 商号	日本エス・エイチ・エル株式会社 (存続会社) 平成19年9月30日現在	株式会社イー・コーチング (消滅会社) 平成19年9月30日現在
(2) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・仕事・組織に関するアセスメントとデベロップメント事業</li> <li>・コンピテンシーモデリング</li> <li>・採用プロセス設計支援</li> <li>・各種適性テストの開発、販売、採点処理、活用支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントセンターの実施支援</li> <li>・360度評価法の導入支援</li> <li>・各種評価代行サービス</li> </ul>
(3) 設立年月日	昭和62年12月22日	平成16年8月3日
(4) 本店所在地	東京都中野区	東京都中野区
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清水 佑三	代表取締役社長 清水 佑三
(6) 資本金	581,067千円	50,000千円
(7) 発行済株式数	34,036株	1,000株
(8) 純資産	1,999百万円	104百万円
(9) 総資産	2,367百万円	134百万円
(10) 決算期	9月30日	9月30日
(11) 従業員数	51名	7名

(12) 主要取引先	(株)毎日コミュニケーションズ その他	日本エス・エイチ・エル(株) その他				
(13) 大株主及び持株比率	清水佑三 26.44% (株)毎日コミュニケーションズ 26.44% ウィリアムマヘイ 5.87% エイエスピーシーファントサービシズスペースセット 3.89% マネジメントコーポレイトド 3.52% ユービーエスセキュリティーズエルエルシーカスタマーセグメントイットアカウント	日本エス・エイチ・エル(株) 100.00%				
(14) 主要取引銀行	(株)三井住友銀行	(株)みずほ銀行				
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	消滅会社は存続会社の全額出資子会社である。				
	人的関係	存続会社は、消滅会社に取り締役3名及び監査役1名を派遣している。				
	取引関係	存続会社は、消滅会社に評価代行業務を委託しており、消滅会社は存続会社の販売代理店として適性テスト等を販売している。				
	関連当事者への該当状況	存続会社は消滅会社の関連当事者に該当する。				
(16) 最近3年間の業績	(単位：百万円)					
	日本エス・エイチ・エル株式会社 (存続会社、個別)			株式会社イー・コーチング (消滅会社、個別)		
決算期	平成17年 9月期	平成18年 9月期	平成19年 9月期	平成17年 9月期	平成18年 9月期	平成19年 9月期
売上高	1,379	1,526	1,563	56	145	168
営業利益	478	590	648	△1	42	51
経常利益	478	598	662	△1	47	51
当期純利益	277	337	391	△2	28	33
1株当たり当期純利益(円)	7,415.98	9,929.86	11,506.76	△2,098.97	28,242.97	33,724.71
1株当たり配当金(円)	4,125	5,400	6,300	—	—	—
1株当たり純資産(円)	47,992.38	52,857.59	58,734.54	42,089.30	70,332.27	104,056.98

#### 4. 合併後の状況

(1) 商号	日本エス・エイチ・エル株式会社
(2) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・仕事・組織に関するアセスメントとデベロップメント事業</li> <li>・コンピテンシーモデリング</li> <li>・採用プロセス設計支援</li> <li>・各種適性テストの開発、販売、採点処理、活用支援</li> <li>・アセスメントセンターの実施支援</li> <li>・各種評価代行サービス</li> </ul>
(3) 本店所在地	東京都中野区
(4) 代表者の役職氏名	代表取締役社長 清水 佑三
(5) 資本金	581,067 千円
(6) 決算期	9月30日
(7) 会計処理の概要	のれんは発生いたしません。

5. 合併による業績への影響の見通し

当合併により、当連結会計年度（平成19年10月1日～平成20年9月30日）の第2四半期から、連結対象子会社を取込みますので、平成19年10月31日の決算短信発表時に公表した平成20年9月期（平成19年10月1日～平成20年9月30日）の個別業績予想を下記のとおり修正します。

平成20年9月期個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,754	738	746	441	12,967円29銭
今回修正予想(B)	1,828	794	798	475	13,977円38銭
増減額(B-A)	73	56	52	34	1,010円09銭
増減率(%)	4.2	7.6	7.0	7.8	7.8
(ご参考)前期実績 (平成19年9月期)	1,563	648	662	391	11,506円76銭

(ご参考)

平成20年9月期連結業績予想の修正はございません。

平成20年9月期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	1,854	800	802	478	14,053円32銭

以上